

水の島

中央学校

一年

鶴田

悠風

「きれいだな」。

私は屋久島の水を見るたびにいつも思う

透き通っていて、とても輝いている。まるで

で小さい星くずが一つになつて光っているよ

うだ。

五月に、自然体験学習に行つた。その時に

千尋の滝、大川の滝をクラスの皆で見に行つ

た。その時の水は、星くずなんてものじゃな

屋久島町立 中央中学校

い。勢よく水しぶきをあげ、すごい力です

べてを飲みこんでしまひそうだった。もう、

三、四年ほど、滝を見に行つたりしなかつた

せいか、「水のはすごい」と強く思った。

だが、こんな水が大きな災害をおこしてし

まうときがあった。自然どうしがぶつかつ

り合ひ、大きなおき、それが津波など

になつてた。皆さんの行方不明者、死者を出す。

そりことを考え、しまうとやはり、少し水が

怖いと思つてしまふ。だけど、この屋久島で

自然体験学習が無事に終わった後、自然体験

しいか、それが大事故になっ、てしま、うのだ。

があ、ころか、も、い、れ、な、い、。自然の力はとて、も、美

パワ、ー、が、な、に、か、と、ぶ、つ、か、り、合、い、。大きな災害

害が起、こ、る、か、分、か、ら、な、い、。水のパワ、ー、や、森の

け、れ、ど、。それは絶対、で、は、な、い、。いつ、大、き、な、災

と、思、う、。屋久島は、あ、ま、り、災、害、が、起、こ、ら、な、い、

力、を、合、わ、せ、て、守、っ、て、い、く、。それが大切、な、ん、だ、

で、も、。それは、た、っ、た、一、人、で、は、で、き、な、い、。皆、が、

る、。だから、か、か、こ、の、島、を、守、ら、な、き、や、い、け、な、い、。

屋久島町立 中央中学校

そう、私、は、思、い、い、て、も、た、っ、て、も、い、ら、ぬ、な、く、な

然、は、大、切、し、な、ん、て、思、っ、て、い、な、い、の、で、は、な、い、か、

こ、と、が、で、き、て、い、る、の、だ、ら、う、か、。ま、し、て、や、「自

で、も、。今、の、島、の、人、た、ち、な、ど、は、そ、れ、を、考、え、る

て、く、る、の、で、は、な、い、だ、ら、う、か、。

に、守、っ、て、い、く、バ、キ、カ、考、え、る、こ、と、が、必、要、に、な、っ、

た、。こ、れ、か、ら、私、た、ち、は、こ、の、自、然、を、ど、の、よ、う

大、事、に、見、守、る、と、い、う、こ、と、が、大、切、な、ん、だ、と、思、っ、

な、と、感、じ、た、。や、っ、ぱ、り、屋、久、島、の、自、然、は、残、し、て

は、ほ、と、ん、ど、災、害、が、お、こ、っ、て、い、な、い、の、は、す、ご、い

験学習の感想を新聞紙にまとめかきこ  
 びた。私は、その新聞に思っ  
 た出来事などを一生けん命がいてみた。こ  
 れは文化祭で展示するらしいのでこの新聞を  
 読む人に伝わるように書いた。私自身、上手  
 くかけたんじゃないのかなと思う。文化祭ま  
 ではまだ先だがとても楽しめた。

そして、終業式をむかえ夏休みになつた。  
 夏に災害といえは「台風」だ。そして今年も  
 台風がやってきた。とても雨風がはげしく一

屋久島町立 中央中学校

歩外にできたらふきとばさぬそうながら  
 ヒョオオオオ「ゴオオオ」ガアアアと  
 うような雑音をふさいでいる間にも、木々が  
 たおれ動物がこぞ死んでいる。そう思うと  
 少し背筋がゾツとした。

この自然を一人一人が守ろうという気持ち  
 こそが大切である。そして、こゝから私  
 は「自然を大切にしろ」という気持ち  
 を大切にする。豊かな自然にめ  
 ぐまれて、生きていき、せい  
 いっぱい、はっかんば

ろうと  
田心  
う。

屋久島町立  
中央中学校